

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	課題研究	2	3-4

1. 学習の到達目標

「色」とはどのようなもので、どのような歴史があるのか。心理学的にもデザインにおける色の関わりについて知る。そして、複雑化し先行きを見通すことの難しい時代となった今、色をコーディネートすることが社会的にどういう意味を持つかについて理解し、衣食住全般と、私たちが住み暮らす住空間をよりよくする実践力を育て、色彩検定2級取得を目指す。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○慣用色名 ○色の表示 ○色彩調和 ○色彩心理 ○色のユニバーサルデザイン ○光と色 ○配色イメージ <p style="text-align: center;">* 過去問題、演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンセル表色系での色相、明度、彩度を記号化し、それぞれの細かい色の違いを知る。 ・色彩調和について学び、視覚効果を知る。 ・2色以上の色を効果的に組合せ、配色の根拠となる理論を学び、指定の配色カードを使い配色の調和を身につける。 ・色と光の性質の関係を知り、色を理解させる。 ・街中など多くの色が氾濫する場合、みせたいもの、伝えたいことをいかに効果的に表示するのかを知る。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジュアル ○ファッション ○インテリア ○景観色彩 <p style="text-align: center;">* 過去問題、演習</p> <p style="text-align: center;">色彩検定 2級受験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の興味を引き、内容を理解してもらうことで情報やメッセージを伝達するという目的が達成されることを理解し、注目度の高い表現とは何かを身につける。 ・小売り環境を中心にしたファッションの位置づけとカラーコーディネーションの考え方を学習する。 ・色の組合せを調整して、美しく見せるカラーコーディネートを身につける。 ・インテリア空間のそれぞれの特性を理解し、その特性にあった色彩を施せる力をつける。 ・検定過去問題を解答し、実力をつける。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩全般 配色演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩に関するよりいっそう専門的な知識や技能を身につける。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	<p>考査、提出物、授業態度等による</p>
------	------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	<p>色彩について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。</p>	<p>色彩に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>色彩について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。</p>	<p>色彩の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、色のもつ役割を理解している。</p>

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	
副教材	<p>色彩検定公式テキスト 2級編 (A.F.T)・配色カード</p>